

国際化 市民フォーラム in TOKYO



開催日時 平成23年 2月19日(土)
10:00~16:00

開催場所 JICA地球ひろば
(東京都渋谷区広尾4-2-24)

受付 9:30から

定員 各分科会 30~70名

外国人登録者数が約42万人で総人口の3%を占める東京。グローバル化する東京が抱える問題点や課題、国際協力のあり方などを都民の皆さまとともに考え、国際化への理解と認識を深める機会とします。

午前 10:00~12:30

セミナールーム 301

1

日本語が母語でない人に「わかる日本語」で情報を

日本語が母語でない方々の中には緊急時の情報や行政・学校など公的な機関からの情報はなかなか理解ができず、生活上の問題を抱えている方々が多くおられるのが現実です。

最近「やさしい日本語」で情報を発信する試みが行われています。この分科会では、「やさしい日本語」を「わかる日本語」と表現して、「わかる日本語」を必要とする背景や実際に行っている事例の報告を行い、問題点を探り、参加者の皆さまと考えていきます。

ファシリテーター

寺嶋誠一郎 中野区国際交流協会常務理事

パネリスト

梶村 勝利 東京日本語ボランティア・ネットワーク代表
中山真理子 中野区国際交流協会専門員 亜細亜大学講師

小野木 溪 元 慶應義塾大学SFC政策研究支援機構
近藤 怜子 『進む内なる国際化～「やさしい日本語」を活かした地域協働の実現～』
三田 真未 グループ



2

ブータンから学ぶ幸せな地域づくり

ヒマラヤの仏教国ブータンで提唱されたGNH（国民総幸福量）とは、国民の精神的な幸福や豊かさを追求する概念です。ブータンにおいて幸せな国づくりに協力しているJICAの事例や実際の現地の状況、GNHの哲学を政策にも取り入れている荒川区の事例発表を通して、地域コミュニティにおける人とのつながりや助け合い、住民一人ひとりの幸せについて考えます。<企画：JICA地球ひろば>

ファシリテーター

山崎 唯司 JICA地球ひろば 市民参加協力アドバイザー

パネリスト

北川 嘉昭 荒川区総務企画部長
 田儀 耕司 公益社団法人日本環境教育フォーラム 国際事業部長
 津川 智明 JICA専門家（ブータン・地方行政）
 鈴木 麻美 青年海外協力隊帰国隊員（ブータン・日本語教師）

午後 13:30~16:00



3

地域における外国人親子の支援

現在、都内には多くの外国人親子が暮らしていますが、育児や子どもの教育について誰にも相談することができず、地域で孤立している方も少なくありません。そこで、地域の外国人の「親子、子育て、家庭、教育」等の支援をしている実践者から最新の状況を報告いただくとともに、参加者の皆さまとこれらの問題点と今後の課題を探ります。

ファシリテーター

川村千鶴子 大東文化大学教授

パネリスト

荒明美奈子 町田国際交流センター 日本語支援ボランティア
 石原 弘子 多言語育児情報誌を作る会 代表者
 善元 幸夫 日本語学級研究会 元大久保小学校教諭

4

「わかる日本語」の作り方

午前中の分科会での議論を踏まえて、「わかる日本語」とはどのようなものをワークショップ形式で実際に体験します。簡単な説明を行った後、行政等から出た災害情報や生活に必要な情報を取り上げ、ほとんどの日本語が母語でない方々に「わかる」日本語に翻訳します。さらに、外国人協力者に読んでもらい、できた文が実際に「わかる」かを検証します。

司 会

大友 正弘 一般財団法人港区国際交流協会常務理事

講 師

中山真理子 中野区国際交流協会専門員・亜細亜大学講師

外国人協力者

中野区国際交流協会 日本語クラス学習者 3名